

平成 30 年度 日本赤十字社診療放射線技師会 東北ブロック研修会開催報告

東北ブロック理事 秋田赤十字病院 三浦 司

平成 30 年 10 月 13 日（土）13 時 30 分より、仙台駅前アエル 6F 「中小企業活性化センター／セミナールーム（2）A」において平成 30 年度日本赤十字社診療放射線技師会東北ブロック研修会が開催されました。東北 5 県 6 施設及び講師を含め総勢 44 名の参加者であった。

今回は特別講演として、昨年度に引き続き日本赤十字社診療放射線技師会、災害医療支援部理事である駒井理事及び災害医療支援部及川氏に講演を頂きました。ランダムに分けられたグループワークを実施。各施設の考えをまとめた上で災害時の現場ではどのように対応・対処した方がよいのか？地域間の連携は？日赤本社の意向としては？など、駒井理事の講演を通して、昨今の災害における診療放射線技師としての役割について考えさせられる良い機会となった。

また、一般演題は 7 題、会員の研究発表があり、我々日頃の業務において大変参考になる演題だった。

教育講演では、演題：「CT 診断の新しい流れ～超高精細 CT・低線量・診断支援～」講師：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 研究開発センター 臨床アプリ研究担当 島 総 先生にお願いした。特に CT への AI 導入、日放技でも行っている医師読影補助等は、既に CT 装置本体でも可能な時代へと突入し実現は時間の問題である。逆に我々放射線技師の職域が危ぶまれることに繋がるのではと、不安も感じられ大変興味深い内容であった。座長を始め講師の皆様、大変お疲れ様でした。この場をお借りしてお礼申し上げます。

開催日：平成 30 年 10 月 13 日（土）13：00～17：30

会 場：仙台駅前アエル 5F 「中小企業活性化センター／セミナールーム（2）A」

【プログラム】

総司会 秋田赤十字病院 三浦 司

12:30 会場・受付開始

13:00 代表者会議

13:25 開会の挨拶

秋田赤十字病院 三浦 司

13:30 特別講義 1

座長 石巻赤十字病院 及川 順一

「災害医療概論」

14:00 特別講義 2（グループワーク）

「災害時の診療放射線技師の役割」

日本赤十字社診療放射線技師会災害医療支援部

名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋

石巻赤十字病院 及川 林

15:00 休憩（10 分）

15:10 一般演題発表（質疑応答各 10 分）

座長 秋田赤十字病院 照井 和幸

1) 泌尿器科医の水晶体の被ばく線量の測定

仙台赤十字病院 笹 優子

2) 3D-DSA, 3D-CTA による脳動脈瘤の計測

八戸赤十字病院 小村 俊平

3) 放射線技師の急変対応時における BVM 使用への取り組み

石巻赤十字病院 佐藤 光一

4) X線撮影の写損管理「ASSISTA Management」の使用経験

秋田赤十字病院 富樫 亜紀

5) 当院成人頭部単純 CT 検査における CTDIvol、DLP と DRL の比較

福島赤十字病院 玉根 勇樹

6) 当院における造影剤管理の見直しについて

福島赤十字病院 阿部 直人

7) 当院の機器整備・業務・新人教育状況について

盛岡赤十字病院 川原 猛

16:20 休憩 (10分)

16:30 教育講演

座長 秋田赤十字病院 三浦 司

演題：「CT 診断の新しい流れ～超高精細 CT・低線量・診断支援～」

講師：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 研究開発センター 臨床アプリ研究担当

津島 総 先生

17:30 集合写真撮影・閉会

18:15 情報交換会



